

東京フィルの
午後の
コンサート。
2022
11



〈クリスタル・クラシック〉

第16回 渋谷の午後のコンサート

2022年 **11月24日(木)**

14:00開演

Bunkamura オーチャードホール

第95回 休日の午後のコンサート

2022年 **11月27日(日)**

14:00開演

東京オペラシティ コンサートホール



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
オーケストラの響きが満ちる場所でのかけがえのないひとときを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten 25
YEARS

マルハニ

LOTTE

ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第16回 渋谷の午後のコンサート

11.24(木) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール

Thu. Nov. 24, 2022, 14:00 at Bunkamura Orchard Hall

第95回 休日の午後のコンサート

11.27(日) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

Sun. Nov. 27, 2022, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall



〈クリスタル・クラシック〉〈Crystal Classic〉

指揮とお話 大井剛史 Takeshi Ooi, conductor & speaker

ソプラノ 森 麻季* Maki Mori, soprano

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

ドヴォルザーク: 序曲『謝肉祭』(約10分)

Dvořák: Carnival Overture (ca. 10 min)

ドヴォルザーク: わが母の教えたまひし歌* (約3分)

Dvořák: Songs My Mother Taught Me (ca. 3 min)

ドヴォルザーク: 歌劇『ルサルカ』より「月に寄せる歌」* (約7分)

Dvořák: "Song to the Moon" from opera "Rusalka" (ca. 7 min)

山田耕筰: からたちの花* (約3分)

Kōsaku Yamada: Karatachi no hana (Trifoliate Orange Flowers) (ca. 3 min)

山田耕筰: 赤とんぼ* (約3分)

Kōsaku Yamada: Akatonbo (Red Dragonfly) (ca. 3 min)

山田耕筰: この道* (約3分)

Kōsaku Yamada: Kono michi (This Road) (ca. 3 min)

プッチーニ: 歌劇『ラ・ボエーム』より「私が街を歩けば」* (約3分)

Puccini: "Quando me'n vò" from opera "La Bohème" (ca. 3 min)

— 休憩 intermission —

ドヴォルザーク: 交響曲第8番 (約36分)

Dvořák: Symphony No. 8 (ca. 36 min)

主催: 公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人 日本芸術文化振興会

協力: 朝日新聞社、Bunkamura (11/24)

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council

In Association with the Asahi Shimbun Company, Bunkamura (Nov. 24),



※演奏中や曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。※開演間際の入場、再入場:途中入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。※演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。※終演後、ロビーの混雑を避けるため「時差退場」のお願いをしております。ご協力をお願いいたします。

- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. -If you enter or reenter just before or in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned. -Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. - In order to avoid crowding when exiting the hall, we ask that you exit the hall by staggered times in cooperation with guidance that staff will provide at the venue at the end of the concert.

11/24

渋谷の
午後の
コンサート

11/27

休日の
午後の
コンサート

出演者プロフィール

指揮とお話 **大井 剛史**

Takeshi Ooi, conductor & speaker

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメッティ、クラブチェフスキーの各氏から指導を受ける。東京藝術大学指揮科を卒業後、1999年同大学院指揮専攻修了。1996年安宅賞受賞。2000～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者として研鑽を積み、2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現・千葉交響楽団）常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



©K.Miura

ソプラノ **森 麻季**

Maki Mori, soprano

東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、ミラノとミュンヘンに留学。ブラシド・ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞。ワシントン・ナショナル・オペラでアメリカ・デビュー。ドレスデン国立歌劇場『ばらの騎士』、トリノ王立歌劇場『ラ・ボエーム』に出演を重ねて、国際的な評価を高める。2015年兵庫オペラ『椿姫』、2017年BCJオペラ『ポッペアの戴冠』、2020年BCJオペラ『リナルド』、2022年Bunkamuraシアター・オペラ・コンチェルト『椿姫』に出演。透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、日本を代表するオペラ歌手として常に注目をあびる。2022年より国立音楽大学客員教授。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。



©Yuji Hori

https://twitter.com/makimori_sop

11/24

渋谷の
午後のコンサート

11/27

休日の
午後のコンサート

プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

歌心に満ちた美しいメロディの数々を

本日はチェコを代表する作曲家、ドヴォルザークの作品を中心としたプログラムが組まれました。交響曲からオペラまで幅広い分野に傑作を残したドヴォルザークですが、どんな作品を聴いても感じられるのが、メロディの美しさ。のびやかで温かく、まるで民謡のように自然なメロディにあふれています。本日演奏されるどの作品にも、そんなドヴォルザークならではの魅力がぎっしりと詰まっています。

指揮の大井剛史は「ドヴォルザークはいちばん好きな作曲家」だと言います。マエストロの作曲家への深い理解と豊かな共感が東京フィルから名演を引き出してくれることでしょう。

名ソプラノ、森麻季の歌唱も本日の大きな聴きどころ。ドヴォルザーク、山田耕筰、プッチーニの名曲が歌われます。清澄でみずみずしい声は、人間の声が最高の楽器であることを教えてくれます。



美しいメロディの数々をマエストロ大井のタクトと、森麻季さんのみずみずしい歌声でお届けします

哀感と野趣に富んだ軽快な舞曲

アントニン・ドヴォルザーク (1841-1904) は1891年に50歳を迎え、プラハ大学から名誉博士号を授与されます。その返礼として作曲されたのが、**序曲『謝肉祭』**。序曲にはオペラや劇のオープニングテーマとして作曲される作品もありますが、この序曲はいわゆる演奏会用序曲。三部作『自然、人生、愛』の2曲目として作曲されましたが、序曲単独で完結しており、特定のストーリーとは結びついていません。



毎年2～3月頃にプラハ旧市街を中心に行われるカーニバルでは、様々な衣装で仮面をつけた人々によるパレードが見どころ
stock.adobe.com

曲は盛大に開始されます。謝肉祭（カーニバル）の賑わいが目に浮かぶようなお祭り気分にあふれています。飲めや歌えの大騒ぎが一段落すると、哀愁を帯びたのびやかなメロディが奏でられます。中間部は幻想味豊か。最後はふたたび喧騒とともに喜びを爆発させます。

子に向き合う母親の心情を歌う

ドヴォルザークが残した歌曲のなかでもっとも有名なのが、**「わが母の教えたまいし歌」**。1880年に作曲された歌曲集『ジプシーの歌』作品55の第4曲として収められた一曲で、多くのソプラノ歌手に愛唱されてきました。

詩の作者はチェコの同時代の詩人、アドルフ・ヘイドゥック (1835-1923)。歌詞では子に向き合う母親の心情が歌われています。老いた母親がわたしに歌を教えてくれた頃、いつも涙を浮かべていた。今、わたしが幼い子に歌を教えると、やはり涙がしたり落ちる……。わが子を見て、自分の子供時代の記憶がよみがえることはよくあること。時の流れに思いを馳せずにはいられません。



アドルフ・ヘイドゥック
(1835-1923)

月の光に照らされながら歌う恋心

ドヴォルザークは生前に10作を超えるオペラを作曲しています。そのなかで唯一、現在も国際的に上演される人気レパートリーに定着しているのが『**ルサルカ**』です。

ルサルカとはスラヴ神話に登場する水の精の名。森の奥に住むルサルカが、ある日、人間の王子に恋をします。ルサルカは、魔法使いにお願いして、自分を人間の姿へと変えてもらうのですが、その代償として口がきけなくなってしまう。王子は美しいルサルカに心を奪われて結婚します。しかし、やがて言葉をしゃべれないルサルカに不満を抱き、心変わりします。ルサルカは悲しみ、水の精に戻ろうとしますが、そのためには王子の命を奪わなければなりません……。

第1幕で、ルサルカが人間になる前に歌うのが『**月に寄せる歌**』。月の光に照らされながら、王子への恋心を歌います。



1901年3月に『ルサルカ』が初演されたときのルサルカ役だったルジェナ・マトゥロヴァ

11/24

渋谷の
午後のコンサート

11/27

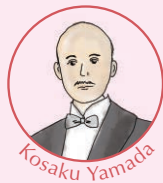
休日の
午後のコンサート



月の光が幻想的な、ブルタヴァ川から望むブラハ城

stock.adobe.com

日本人の郷愁を誘う山田耕筰の童謡



山田耕筰 (1886-1965) は大正・昭和期の日本楽壇で主導的な役割を果たした作曲家。1910年よりベルリンの王立アカデミー高等音楽院で作曲を学び、帰国後、日本におけるオーケストラ運動やオペラの実現に向けて尽力しました。1922年には北原白秋とともに雑誌「詩と音楽」を創刊し、日本語と西洋音楽を融合させる歌曲の創作に取り組めます。そして、日本語の自然な抑揚を生かした歌曲を作り出しました。

北原白秋作詞の「**からたちの花**」(1925年)、三木露風作詞の「**赤とんぼ**」(1927年)、北原白秋作詞の「**この道**」(1927年)は、いずれも日本人ならではの耳にしている名曲でしょう。「赤とんぼ」は日本でもっとも歌われている童謡かもしれませんね。

元カレの気を引こうとするムゼッタの歌



イタリアのオペラ作曲家 **ジャコモ・プッチーニ** (1858-1924) の作品でもとりわけ人気が高いのが『**ラ・ボエーム**』。パリを舞台に、若く貧しい芸術家たちの愛と友情が描かれます。ストーリーの



1896年2月に『ラ・ボエーム』が初演されたときのポスター

中心となるのは、詩人のロドルフォとお針子のミミのロマンスですが、このふたりと対照的なカップルが画家のマルチェッロとその元恋人である歌手のムゼッタ。金持ちのパトロンと羽を伸ばしているムゼッタが、カフェでマルチェッロを見つけると、「**私が街を歩けば**」を歌って気を引こうとします。最初は無視していたマルチェッロも、だんだんがまんできなくなってきます。

お金だけの関係のパトロンと、貧乏な元カレ。ムゼッタが本心からつきあいたいのはどちらなのか、言うまでもありません。

非凡なメロディメーカーぶりがわかる傑作交響曲

「あいつがゴミ箱に捨てたスケッチだけでも一曲書けそうだ」。これはドヴォルザークの非凡なメロディメーカーぶりを称えたブラームスの言葉。ドヴォルザークの才能にいち早く気づいたブラームスは、ベルリンの出版業者ジムロックにドヴォルザークを推薦します。これをきっかけに書かれたスラヴ舞曲集で、ドヴォルザークは大ブレイクを果たしました。

当初、ドヴォルザークとジムロックの協力関係は良好だったのですが、やがて両者の間に溝ができます。ドヴォルザークはスラヴ舞曲のような気軽な作品よりも、交響曲のような大作にエネルギーを注ぎ込みたい。しかしジムロックは売れない交響曲よりも、気軽な作品を書いてほしい。交響曲第8番を書いた際、ついにドヴォルザークはジムロックからの出版を断念し、楽譜をイギリスのノヴェロ社から出版することに決めました。そんな経緯もあって、かつてこの曲は「イギリス」という愛称で呼ばれていました。といっても曲の性格はまったくイギリス的ではなく、チェコらしい民謡風の親しみやすいメロディに彩られています。

第1楽章 アレグロ・コン・プリオ チェロがメランコリックな主題を奏でると、フルートが楽しげな主題で応えます。熱気に満ちた楽想がくりひろげられます。

第2楽章 アダージョ どこか懐かしさが感じられるメロディで開始されます。木管楽器が小鳥のさえずりを思わせます。

第3楽章 アレグレット・グラチオーソ 切なく優美なワルツが奏でられます。終結部は一転して陽気に。

第4楽章 アレグロ・マ・ノン・トロppo 威勢のよいファンファーレで開始され、主題と変奏が続きます。表情を次々と変えながら、力強いクライマックスを築きます。

いいお・よういち（音楽ジャーナリスト）／著書に『クラシック音楽のトリセツ』（SB新書）、『R40のクラシック』（廣済堂新書）、『マンガで教養 やさしいクラシック』監修（朝日新聞出版）、『クラシックBOOK』（三笠書房）他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。



指揮：
チョン・ミョンフン
名誉音楽監督



指揮：
ミハイル・プレトニョフ
特別客演指揮者
ピアノ：イム・ユンチャン*
2022年ヴァン・クライバーン
国際ピアノコンクール優勝



指揮：
アンドレア・バッティストーニ
首席指揮者



指揮：
ミハイル・プレトニョフ
特別客演指揮者

シーズンオープニング

シューベルト
交響曲第7番
『未完成』^{ロ短調}
ブルックナー
交響曲第7番
ホ長調（ノヴァーク版）

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第5番
『皇帝』^{変ホ長調*}
チャイコフスキー
マンフレッド
交響曲

ベルリオーズ
序曲『ローマの謝肉祭』
カゼツラ
狂詩曲『イタリア』
（カゼツラ生誕140年）
サン＝サーンス
交響曲第3番
『オルガン付き』^{ハ短調}

ラフマニノフ
幻想曲『岩』
交響詩『死の島』
交響的舞曲
（ラフマニノフ生誕150年）

オーチャード定期演奏会

開演15:00／開場14:15

Bunkamura オーチャードホール

第979回 1.29(日)

第981回 2.26(日)

第983回 3.12(日)

第985回 5.14(日)

東京オペラシティ定期シリーズ

開演19:00／開場18:15

東京オペラシティコンサートホール

第151回 1.26(木)

第152回 2.22(水)

第153回 3.9(木)

第154回 5.12(金)

サントリー定期シリーズ

開演19:00／開場18:15

サントリーホール

第978回 1.27(金)

第980回 2.24(金)

第982回 3.10(金)

第984回 5.10(水)

2023
シーズン

定期演奏会ラインナップ発表！



 指揮： 尾高忠明 桂冠指揮者 ピアノ：亀井聖矢* 2022年マリア・カナルス 国際音楽コンクール入賞	 指揮： チョン・ミョンフン 名誉音楽監督 ※出演者調整中	 指揮： クロエ・デュフレーヌ 2021年ブザンソン国際指揮者コンクール聴衆賞、オーケストラ賞 ヴァイオリン：中野りな* 2022年仙台国際音楽コンクール優勝	 指揮： アンドレア・バッティストーニ 首席指揮者 チェロ：佐藤晴真* 2019年ミンヘン国際音楽コンクール優勝
尾高忠明 オーケストラの ための『イメージ』 ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番 ハ短調* 交響曲第1番 ニ短調 (ラフマニノフ生誕150年)	オペラ演奏会形式 ヴェルディ 歌劇『オテロ』	リリ・ブーランジェ 春の朝に (リリ・ブーランジェ生誕130年) サン＝サーンス ヴァイオリン協奏曲第3番 ロ短調* ベルリオーズ 幻想交響曲	チャイコフスキー 幻想曲『テンペスト』 ロココの主題による変奏曲* 幻想序曲『ハムレット』 幻想序曲 『ロメオとジュリエット』 (チャイコフスキー没後130年)

第986回 6.25 (日)	第988回 7.23 (日)	第991回 10.22 (日)	第993回 11.12 (日)
第155回 6.23 (金)	第156回 7.27 (木)	第157回 10.18 (水)	第158回 11.16 (木)
第987回 6.27 (火)	第989回 7.31 (月)	第990回 10.19 (木)	第992回 11.10 (金)

東京フィルハーモニー交響楽団

【定期会員・特典】

- 特典1 専用指定席 シーズンを通して同じお席を確保いたします。
- 特典2 特別価格 1回券を同じ回数分購入するよりもお得です。
- 特典3 最優先販売 主催公演のチケットを最優先でご案内します。
- 特典4 会場のお振替 同月の他会場定期演奏会へお振替いたします（一部対象外あり）。
- 特典5 各種イベントご案内 会員様限定イベント、オンライン企画をご案内いたします。
- 特典6 翌年シーズンへの最優先継続権 お席を最優先で確保いたします。
- 特典7 チケット割引 主催公演チケットが定価の10%割引になります（一部対象外あり）。

- ▶ 新規定期会員券 発売日
- ・最優先発売（賛助会員）発売中
- ・優先発売（東京フィルフレンズ）発売中
- ・WEB優先発売 発売中～12/12(月)23:59 [定価の10%オフ]
- ・一般発売 12/13(火) 10:00

▶ お申込み・お問い合わせ **東京フィルチケットサービス**

TEL **03-5353-9522**

営業時間：平日10時～18時 定休日：土日祝日、年末年始
※チケット発売初日の土日祝のみ10時～16時営業

WEB <https://www.tpo.or.jp/>



東京フィル

検索

東京フィルフレンズ | 入会金・年会費無料で、主催公演チケットを優先発売日より定価の10%割引でお願いいたします（一部除く）。入会のお申込みは東京フィルチケットサービス（03-5353-9522）までお電話ください。

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
協力：Bunkamura（オーチャード定期演奏会）
共催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団（11/16公演）

ご注意 | 未就学児のご入場はお断りしております。やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更となる場合がございます。公演中止の場合を除き、お求めいただいたチケットの払戻・変更等はいたしません。

料金など詳細は定期演奏会2023
特集ページをご覧ください



2023シーズン、1月開幕!

2023 Season Opening

東京フィルの2023シーズンの開幕を飾る1月定期演奏会は、名誉音楽監督チョン・ミョンフンが登場。シューベルトとブルックナーからなるドイツ・プログラムをお届けします。これらの作曲家をマエストロと東京フィルが取り上げるのは、シューベルト『未完成』は2007年、ブルックナー「第7番」は2002年以来。

マエストロ チョンはこう語ります。

「クラシック音楽の偉大さを語るとき、今回の2作品は中でもクラシック音楽を代表する最高傑作にあたります。10年以上の時を越えて、これらの作品に戻ることができるのは大きな喜びです。

前回すでに、東京フィルが実に見事な演奏をしたのを覚えています。私たちクラシック演奏家はこれらの素晴らしい作品を一生涯かけて学び、一回ごとに新しい何かを見つけようとしています。こうした作品の奥深さを十分に見出すには時間がかかる。お客様に、私たちが成長し続けていることをお見せできればと思っています」



2022年10月23日オーチャード定期演奏会の楽屋にて ©上野隆文

ただ今、2023シーズン定期会員券(年間通し券)の販売期間中です。1回券の発売は12月中旬から開始いたします。料金など詳しくは東京フィルウェブサイトまたは東京フィルチケットサービスまでお問合せください。

ニューイヤーコンサート2023 好評発売中!

東京フィル新年の恒例行事、「これ無くして一年は始まらない!」というお客様多数の人気公演が、「ニューイヤーコンサート」。新年の華やかな雰囲気のもと、世界に羽ばたく若き音楽家たちの魅力満載のコンサートが繰り広げられます。2023年の幕開けを華やかなオーケストラの演奏とともにお祝いしましょう。

日時 2023年1月2日(月・休)、3日(火) 15:00開演(14:00開場)

会場 Bunkamuraオーチャードホール

出演 出口大地(指揮)、廣津留すみれ*(ヴァイオリン、1/2公演)、
亀井聖矢** (ピアノ、1/3公演)、朝岡聡(司会)

曲目 J. シュトラウスⅡ/ワルツ『美しく青きドナウ』
ピアソラ/『ブエノスアイレスの四季』より「冬」*
サン＝サーンス/序奏とロンド・カプリチオーゾ*
リスト/ピアノ協奏曲第1番**
お客様の投票で演奏曲が決まる「福袋プログラム」
ラヴェル/ボレロ ほか

料金 S席¥6,600 A席¥5,500 B席¥3,500



Chiro, pberg_berlin



©T. Tairadate

【提携都市公演】第55回千葉市定期演奏会 好評発売中!

東京フィルは1997年以来、千葉県千葉市と事業提携を結び、演奏会を継続的に開催しております。今回は、エネルギー演奏を繰り広げる三ツ橋敬子の指揮と若き名手・岡本誠司のヴァイオリンで、美しいロマンティズムを湛えるドイツロマン派の作曲家メンデルスゾーンの名曲を3曲続けてお届けします。輝きを放つメンデルスゾーンの名曲を心ゆくまでお楽しみください。

日時 2023年2月8日(水) 19:00開演(18:30開場)

会場 千葉市民会館 大ホール

出演 三ツ橋敬子(指揮)、岡本誠司*(ヴァイオリン/2021年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝)

曲目 メンデルスゾーン/序曲『美しいメルジーネの物語』
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲*
メンデルスゾーン/交響曲第4番『イタリア』

料金 ¥4,500(全席指定)



©Earl Ross



©S. Ohsugi

チケット問合せ 東京フィルチケットサービス 03-5353-9522

(平日10:00~18:00)※12/10(土)、17(土)は10:00~16:00で営業

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>

Photo Reports 2022年9月の演奏会より

9月のコンサートは東京フィルおなじみのマエストロがふたり登場。『休日／渋谷の午後のコンサート』にはマエストロ小林研一郎が、そして定期演奏会には今年日本デビュー10周年を迎えた首席指揮者アンドレア・バッティストーニが、それぞれの演目で情熱的な演奏をお届けしました。

写真＝上野隆文(9/15・16)、三浦興一(9/19)

第15回渋谷の午後のコンサート(9/2)、
第94回休日の午後のコンサート(9/4)
〈コバケンの名曲アラカルト〉

指揮とお話：小林研一郎 ヴァイオリン：荒井里桜*
コンサートマスター：三浦章宏

グリーンカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲*

【ソリスト・アンコール】バッハ／無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番より第1楽章「アダージョ」
ドヴォルザーク／スラブ舞曲第10番
スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より「シャルカ」「モルダウ」
【オーケストラ・アンコール】アイルランド民謡／ダニー・ボーイ



長年多くの人に愛されるマエストロ コバケンのタクトと楽しいお話で「午後のコンサート」2公演をお届けしました



ソリストは若手・荒井里桜さん。難曲メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」でのソリストをつとめ、また「質問コーナー」ではマエストロとのトーク進行もこなしました

9月定期演奏会(9/15、16、19)／長岡特別演奏会(9/18)

指揮：アンドレア・バッティストーニ

コンサートマスター：近藤薫

リスト(バッティストーニ編)／『巡礼の年』第2年「イタリア」より ダンテを読んで
マーラー／交響曲第5番



日本デビューから10年、若々しさの中にも風格を増しつつあるマエストロ バッティストーニ。自身の管弦楽編曲とマーラー「第5番」で東京フィルとの信頼関係のもと美しい音色を引き出しました(9/16)



サントリー定期シリーズのカーテンコールより(9/16)



公演最終日は、拠点Bunkamuraオーチャードホールにて。4公演で集中力高い演奏を繰り広げました(9/19)



マーラー「第5番」のカーテンコールより。ホルン首席高橋に大きな拍手が(9/19)



同「第5番」冒頭の葬送行進曲から力強い旋律を奏でたトランペット首席川田と同セクション(9/19)

最も思い出深い クラシック音楽

株式会社大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長

澤田 太郎



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第13回は、今年111周年を迎えた東京フィルのルーツとして1911(明治44)年に生まれた「いとう呉服店少年音楽隊」の母体「いとう呉服店」を前身とする株式会社大丸松坂屋百貨店の代表取締役社長澤田太郎様。東京フィルの法人賛助会員として今もご支援を続けてくださっています。今回はご自身とご家族の音楽の思い出を綴ってくださいました。

明治44年、松坂屋の前身である「いとう呉服店」は、名古屋の栄町に開業した新店舗の多目的ホールで行うイベントを盛り上げるために、海軍軍楽隊の学長を招き、一般公募による12名で結成されました。最初は管楽器だけのブラスバンドでしたが、2年後にはオーケストラに。大正13年から昭和13年までは、春の選抜高校野球大会の開会式の演奏をつとめるまでになり、昭和23年には現在の名称の東京フィルハーモニー交響楽団と改称しました。わが国を代表する交響楽団のルーツが松坂屋であるということを変に誇りに思っています。

「クラシック音楽に魅せられて」への寄稿のお話をいただき、まず考えたのは、私にとって最も思い出深い曲は何であろうか、ということでした。すると「魅せられて」とは少し違う方向にはなりますが、ショパンのエチュード『革命』が思い浮かびました。

私には3歳上の姉がいます。姉は幼いころからピアノを習い続け、高校3年生になると音大のピアノ科を志望しました。私が中学3

年生の時です。音大入試の課題曲の発表がこの年の秋にあり、その一つが、ショパンのエチュード『革命』でした。私の家族は入試までの半年余りの期間、この『革命』と付き合うはめになりました。最初のころは、同じ箇所を何度も繰り返したり、音が合わなかったり、テンポも一定ではなく、「また



1911(明治44)年発足当時の「いとう呉服店少年音楽隊」(提供＝一般財団法人 J.フロント リテイリング史料館)

始まったよ」と両親と首をすくめていました。特に繰り返し練習している旋律の刷り込みは強烈で、テスト中に頭を駆け巡って困ったこともありました。時間の経過とともに腕前も上達し、曲の全体感がわかるようになってきました。猛特訓の賜物でしょうか、姉は志望校に無事合格し澤田家にも春が訪れました。私も両親も心から喜んだのは言うまでもありませんが、『革命』から解放された喜びの方が大きかったのかもしれませんが。姉は明けても暮れても、休みの日はほぼ一日中練習をしており、私にとって『革命』は最も生活に密着したクラシック音楽であり、目標に向かってひたすら努力することの象徴となりました。



今改めて『革命』の旋律を耳にしますと、あの半年間が懐かしく思い出されると同時に、コロナ禍で大きく変わったビジネス環境に立ち向かっていく勇気が、お腹の底から湧いてくるように感じます。

澤田太郎(さわだ・たろう)

1960年神戸市生まれ。1983年滋賀大学経済学部卒業後株式会社大丸入社。2011(平成23)年大丸神戸店長、2012(平成24)年大丸心斎橋店長に就任。大丸心斎橋店本館の建て替えを指揮し、新しい百貨店モデルの具現化を進めた。2018(平成30)年J.フロント リテイリング株式会社取締役 兼 執行役常務経営戦略統括部長に就任。2020(令和2)年株式会社大丸松坂屋百貨店代表取締役社長に就任。

株式会社大丸松坂屋百貨店様は、大丸・松坂屋の屋号で全国に百貨店を15店舗展開されています。江戸時代の創業以来、「お客様や社会への貢献を最優先に考える」(先義後利)という精神は受け継ぎながら、お客様や社会から求められ続ける「新しい百貨店の理想形」を目指し、たゆみない挑戦と進化を続けています。大転換期の今、これから先起こる様々な変化を楽しみながら「百貨店」の枠を超えた未来を創造していきます。<https://www.daimaru-matsuzakaya.com/>

日ごとに寒さが身にしみる晩秋の候、
 時下いっそうご壮健のこととお喜び申し上げます。
 今月も、皆様のあたたかなご支援に、厚く御礼申し上げます。
 今回は、名曲にまつわるお話とともに、
 楽団の奏でる音楽を心ゆくまでお楽しみください。
 楽団員とともに、皆様のご期待にお応えできるよう、
 これからも努めてまいります。
 引き続き当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
 ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
 改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IHI 代表取締役社長 井手 博	(株)アシックス 取締役会長 尾山 基	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
アイ・システム(株) 代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 松本 浩司	カシオ計算機(株) 代表取締役 社長 CEO 樫尾 和宏

キヤノン(株)
代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫

(株)グリーンハウス
代表取締役社長 田沼 千秋

コスモエネルギーホールディングス(株)
代表取締役社長 社長執行役員 桐山 浩

サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 加賀美 猛

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴェアナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)
代表執行役 会長兼社長 CEO 吉田 憲一郎

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 萩本 友男

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 高橋 和夫

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 長島 誠

東レ(株)
代表取締役社長 日覺 昭廣

トッパン・フォームズ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 豊田 章男

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
代表取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 高島 誠

三菱地所(株)
執行役社長 吉田 淳一

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長 今西 宏明

楽天グループ(株)
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長 岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 畝森 達朗

(医)エレル たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一社)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 真吾

(株)トレミール
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

コロナ禍において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は今も社会に大きな影響を及ぼしています。東京フィルもまた、深刻な打撃を受けています。2020年2月下旬から数か月にわたり、出演する演奏会のすべてが中止・延期となりました。その後も感染状況により公演の中止や延期、チケットの販売停止を余儀なくされております。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。指揮者と楽団員、スタッフはPCR検査や抗原検査を何度も受けて公演に臨んでおり、これらの検査に掛かる費用もまた楽団の財政を圧迫しています。

今後も、当団は、芸術がもたらす感動がどんな時代にも社会を豊かにするとの信念のもと、お客様ならびに関係者の安全と安心を最優先に、状況を注視しながら活動を続けてまいります。皆様のご寄附が大きな力となります。皆様におかれましては、改めて楽団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、いっそうのご支援・ご助力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただきましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（次ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行（郵便振替）	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部（096）	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521（土日祝日を除く10時～18時）

東京フィル 賛助会 会員募集中

2022年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立111年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしております。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後も社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会（法人／パートナー（個人））会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリユード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「主催者カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部（担当：星野^{かのまた} 鹿文）

電話：03-5353-9521（平日10時～18時） Eメール：partner@tpo.or.jp

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演事業」

文化庁が主催する本事業は、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、さらに2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。



小学校体育館でのオーケストラ本公演

令和4年度からは、「文化芸術による子供育成推進事業」と事業名が変更となり、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受けました。今年度は5月から12月にかけて、小中学校14校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催します。

留学生の演奏会ご招待… 留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に來場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンファン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

演奏会場の感染対策について

演奏会の開催にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。引き続いての感染症予防のご協力をお願い申し上げます。

写真＝三浦興一／上野隆文

客席・ロビーの対策について



入場前の手指消毒、マスク着用、間をあけて整列をお願いいたします



入場の際に、サーモグラフィカメラ・非接触型体温計等での検温を行っています



密集を避けるため、時間差による入退場のご協力をお願いする場合がございます

- ・クロークは各ホールの運用によりご利用いただけない場合がございます。
- ・出演者への面会、サイン、お届け物は当面お控えください。
- ・会場で体調不良を感じた方は、速やかにスタッフへお声がけください。



Face Masks
Required



Physical
Distancing



Sanitizing
Stations



Frequent Cleaning
and Disinfecting



Improved Indoor
Ventilation

会場ではマスクの着用をお願いいたします。

ロビーや客席内での会話はお控えください。

ロビー等ではお客様同士の間隔を十分におとりください。

頻回の手指消毒をお願いいたします。

場内はスタッフが消毒・清拭を行っております。

客席内は十分な換気を行っております。

ロビー・入退時の密集を避ける施策にご協力ください。

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和土
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

戸上 真里◎
Mari Togami

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水島 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴァイola
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	遠藤 柁一郎 Shuichi Endo	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	辻 姫子○ Himeko Tsuji	
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	小笠原 茅乃 Kayano Ogasawara	杉本 真木 Maki Sugimoto	大東 周 Shu Ohigashi	石川 浩 Hiroschi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	岩倉 宗二郎 Sojiro Iwakura	武田 基樹 Motoki Takeda
広田 勇樹☆ Yuki Hirota	小栗 亮太 Ryota Oguri		田場 英子 Eiko Taba	平田 慎 Shin Hirata	
石川 剛 Go Ishikawa	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada	山内 正博 Masahiro Yamauchi	ステージマネージャー Stage Managers
大内 麻央 Mao Ouchi	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	チョ・スンホ◎ Sungcho Cho	豊田 万紀 Maki Toyoda		稲岡 宏司 Hiroschi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	山内 研自 Kenji Yamanouchi	テューバ Tubas	大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	中村 元優 Motomasa Nakamura	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	古谷 寛 Hiroschi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki		黒尾 文恵 Fumie Kuroo		荻野 晋 Shin Ogino	
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets		
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	神田 勇哉◎ Yuya Kanda		川田 修一◎ Shuichi Kawata	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	ファゴット Bassoons	野田 亮◎ Ryo Noda	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	下弘 桐子 Kiriko Shimobara	井村 裕美 Hiromi Imura	前田 寛人 Hirohito Maeda	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
		桔川 由美 Yumi Kikkawa		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
		森 純一 Junichi Mori		船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フオアシュピラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バティストニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2022, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 111th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	古野 淳
池田 敏美	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細川 克己
糸井 正博	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
今井 彰	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
岩崎 龍彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
上野 眞行	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
生方 正好	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
大兼久 輝宴	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大澤 昌生	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介

〈発行日〉2022(令和4)年11月24日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとまき

〈印刷〉歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



TOKYO PHILHARMONIC

Afternoon Concerts 2022 season